



理事長 杉山 憲司

(東洋大学名誉教授・獨協大学講師)

保育・子育ては育児不安、養育不全、児童虐待の対策と予防が急務です。

しかし、日本の現状は

- ①就学前の保育・教育システムが追いついていない危機感
 - ②保育・子育ての主人公は子どもである
- との考えから、2005年に藤永保先生(発達心理学者)が現職保育者の力量向上を第一目的としてNPO法人を立ち上げられました。

藤永保先生はご遺著『藤永保の「子育て・育ち」考ー子育て困難時代への警鐘ー』(チャイルド本社)で、「親の子育てではなく、子育てに視点を置く」「保育所や幼稚園の真の利用者は、子どもである」「父親もせめて母親の何分の一かの育児休暇を取るよう法制化する」ことが大切であると述べられています。

本NPO法人はこれを受けて、

- 1)子どもの視点と人権を守る
- 2)子どものQOL向上を第一に活動する
- 3)子どもの成長・発達には「人」と「自然」が不可欠である
- 4)男性が家事、子育てに参加することが必要である
- 5)保育者の待遇を改善し、またその社会的地位の向上を計る
- 6)家庭・保育施設・センター三位一体の共有体制を作るのが望ましい

との方針で活動を行っております。ぜひ、私たちの講習会にご参加ください。ごいっしょに活動することを楽しみに、お待ちしております。

創設者 故・藤永保 より

お母さんに抱かれた赤ちゃんが、隣の席に座っています。もう7~8か月にもなるのでしょうか。好奇心いっぱいの目を見開いて、こちらを見つめています。思わず見つめ返すと、照れたように顔をそむけ、しばらくするとまたじっと見つめてきます。ありふれた光景といえどもそれまでですが、こんな場面に出会うと、私はいつも一種の感動を覚えます。

「遊ぶ子どもの声聞けば、我が身さえこそゆるがるれ」という中世歌謡の一節も、こうした感動をうたったものでしょう。

だれしも、昔は、幼な子だったのです。子どもは、心の故郷なのです。裏返していえば、子どもは世界の未来でもあります。幼な子の瞳の輝きがいつまでも消えないよう、祈らずにはいられません。

ところが、最近になって、この輝きがだんだん薄れてきているように見えるのは本当に気がかりです。

毎日オンブをしないと落ち着かない子、自慰行為の止まらない子、見境なく嘔みつく子、などなど…。問題を抱えたまま小学校に入学すれば、いわゆる「小1プロブレム」が爆発するのは無理ありません。

一人でも多くの子育てに携わる方々と手を取り合って、子どもたちの瞳がいつまでも輝きつづけるよう、問題を考えていきたいと願っています。保育所保育士、幼稚園教諭、児童館保育士、小学校教諭ならびに広く一般の保護者のみなさま、私たちの講習会にご参加ください。ごいっしょに育児不安、養育不全、児童虐待等の問題を考え、解決への途を求めていきましょう。私たちが、私たちが伝えうる限りの知識や体験をお話ししてまいります。

藤永 保 (2016年1月21日逝去)
(NPO法人設立時にお書きになられたものです)



子どもの輝く瞳でいっぱいの社会へ

保育：子育て アドバイザー



講習会・資格制度のご案内

育児不安、養育不全
児童虐待を未然に防ぐために



＊平成29年度 保育：子育てアドバイザー 講習会のご案内＊

▶ 春期講習会 (定員40名)

5月27日 (土)	アロマザリングと子別れ 早稲田大学教授 根ヶ山光一 先生
	乳幼児の保健衛生-これだけは知っておきたい 元東京大学医学部教授 早川 浩 先生
5月28日 (日)	子どもからの事実確認 立命館大学教授 仲 真紀子 先生
	子育て文化の東西比較 元京都光華女子大学教授 荘巖舜哉 先生
	保育制度の課題-「みんなで子育て」という思想とシステム 元こども教育宝仙大学教授・学長 池田祥子 先生

▶ 夏期講習会 (定員40名)

8月5日 (土)	子どものアレルギー 元東京大学医学部教授 早川 浩 先生
	歌いかけ・読み聞かせの発達心理学 白百合女子大学教授 田島信元 先生
8月6日 (日)	子どもを対象とする心理療法-描画法を中心として 放送大学大学院教授 小野けい子 先生
	環境教育ワークショップ:自然観察と遊び、動物飼育 國學院大學栃木短期大学特任教授 勝浦範子 先生 東京都獣医師会理事 中川清志 先生
	子どもの性格-何を教えるべきか、心理検査実習 東洋大学名誉教授・獨協大学講師 杉山憲司 先生

▶ 秋期講習会 (定員40名)

10月21日 (土)	発達障害とどう取り組むか-学齢期を見通した支援 明星大学教授 西本絹子 先生
	食育-保育における子どもの食と発達 共立女子大学教授 河原紀子 先生
10月22日 (日)	気になる子への要因の連鎖-子ども期の養育環境とQOL お茶の水女子大学教授 菅原ますみ 先生
	子どもは変わる・大人も変わる～乳幼児虐待からの再生 お茶の水女子大学名誉教授 内田伸子 先生
	発達障がいのある子どもを育てる親の心理 東洋大学教授 松田英子 先生

▶ 研修科目

科目Ⅰ	気になる子どもたち
科目Ⅱ	子ども理解と発達・教育
科目Ⅲ	小児保健・精神衛生学
科目Ⅳ	発達障害児及び心理臨床の理解と療育
科目Ⅴ	家族や保育者と力を合わせて
科目Ⅵ	日本の子育てと文化比較
科目Ⅶ	他領域連携科目

▶ 資格取得について

- ＊春期・夏期・秋期講習会のうち、5講座を受講することで、初級アドバイザー資格が取得できます。
- ＊春期・夏期・秋期講習会のうち、10講座を受講し、課題レポート審査に合格することで、中級アドバイザー資格が取得できます。
- ＊上級アドバイザー資格は、春期・夏期・秋期講習会のすべての講座を受講し、初級・中級資格を取得して、指定テキストブックによる筆記試験に合格することで取得できます。

▶ 受講料

各20,000円(資料代含む)(当日徴収、領収書発行)
※1講座のみ受講の場合は各4,000円

▶ 会場

(株)公文教育研究会14A会議室
(東京都港区高輪4-10-18 京急第1ビル14階)

▶ お問い合わせ・お申し込み

＊ファックスまたはメールでお願いいたします。
NPO法人 保育：子育てアドバイザー協会事務局(担当・岡崎)
(〒273-0044 千葉県船橋市行田1-46-8-105)

ファックス番号：047-439-7601

メールアドレス：hoikusodate-jimukyoku@mbr.nifty.com

＊協会役員

- 〈理事長〉 杉山 憲司 東洋大学名誉教授・獨協大学講師
- 〈副理事長〉 根ヶ山光一 早稲田大学教授
- 〈理事〉 江崎 雅彦 (株)公文教育研究所代表取締役社長
- 小野けい子 放送大学大学院教授
- 勝浦 範子 國學院大學栃木短期大学特任教授
- 菅原ますみ お茶の水女子大学教授・人間発達教育科学研究所所長
- 中澤 潤 千葉大学教授
- 中野 治 元(株)フレーベル館常務取締役編集局長
- 早川 浩 元東京大学医学部教授・早川医院
- 〈監事〉 佐々木正寛 社会福祉法人行道福祉会理事・おひさま保育園園長
- 米野 宗禎 エデュ・ケア21発行人
- 〈顧問〉 内田 伸子 お茶の水女子大学名誉教授
十文字学園理事・
十文字学園女子大学特任教授
- 柏木 恵子 東京女子大学名誉教授
- 森永 良子 白百合女子大学発達臨床センター顧問
- 〈参与〉 大日向雅美 恵泉女学園大学学長
- 北山ひとみ (株)二期リゾート代表取締役社長
- 佐々木丈夫 (株)公文教育研究会
- 荘巖 舜哉 元京都光華女子大学教授
- 田中 規子 中央大学非常勤講師
- 松田 英子 東洋大学教授
- 渡辺 千歳 東京未来大学教授
- 〈事務局長〉 岡崎愛久男

協会ホームページ

<http://hoiku-kosodate.jp/>